

“わ”情報ざやらり

TEL(078)743-8101

FAX(078)743-8103

神戸市シルバーカレッジ 社会還元センター

グループ“わ”情報誌編集部

グループ“わ” 新代表あいさつ

中島 洋吉 生活環境3期

私は 11 年度を副代表として “わ” の運営に関わってまいりました。実感として私のような才学 菲才な者にはとても代表など勤 まらない、何とか逃げる手は無い ものかと思い巡らしました。『皆 で助けてやるからやれ！』とのこ とで、意を決し代表役をお引き受 けいたしました。皆さんの助けを 借りながら、全力投球してまいり たいと考えております。

グループ “わ” の会員数も、4 月 17 日現在 601 名の大きな所帯 になりました。平成 9 年 7 月 1 期 生の方々が「グループ」を設立さ れて約 3 年が経過し、その間にい ろいろな課題もでてまいりまし た。

まず震災直後から 5 年経過した 現在、“わ” の設立に努力された 「1 期生の思い」がそのまま継承 されてきているのか。また、会員 数が増えるにしたがって、会員各 位に速やかなる情報提供の方法 の模索、通信費や活動費の財源の 問題もあります。また現在のまま

の組織で良いのか。在学中の SC ボランティアセンターでボラン ティア活動を、卒業後には継続し てグループ “わ” で活動してもら えるような受け入れ体制作りの 思案。同時に、在校生に “わ” の 活動内容が見えるにはどのよう にしたらよいのか。

この一年、部会と地域の協調に よる活動が非常に活発に行なわ れるようになりました。その反面 活動メンバーが偏るなどの問題 もでてきております。その他対処 しなければならない課題が山積 しています。私に課せられた最大 の責務は、これらの課題を具体的 に対処して、先輩諸氏の築かれた 路線を継承しながら、さらに会員 の皆さんが活動しやすい組織作 りをしていくことだと思ってお ります。

シルバーカレッジと緊密に連 絡を取りながら、役員一同全力で 活動してまいります。ご支援ご協 力をお願いいたします。

グループ“わ” 新代表あいさつ.....	1	ボランティア体験発表 (中級).....	7
グループ“わ” 前代表あいさつ.....	2	ボランティア体験発表 (初級).....	8
ボランティア活動への呼びかけ (巻頭詞).....	2	グループ“わ” 地区委員に直面して (取組).....	9
ボランティア体験発表 (巻頭).....	3-4	外国人との春の交流運動会を終え (個人誌).....	10
ボランティア体験発表 (副誌).....	5-6	2000年記念イベント (KSC40のあけ2000).....	11
介護の講習会 (主催:グループ“わ”).....	6	グループ“わ” 事務局からのお知らせ/後記.....	12
部会だより『村まつり』(生放誌・職人誌).....	6		

… “わ” この一年をふりかえって…

グループ “わ” 前代表 松井 孝

初夏の候となりました。グループ “わ” の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび平成12年度第2回定期総会を5月17日に迎えましたところ、ご来賓のみなさま、および会員の皆様にはご多忙中にもかかわらずご出席をいただき、お陰をもちまして盛大に行われましたことに対し、大変ありがたく、ここに厚く御礼申し上げます。

昨年、福祉コミュニティコース1期生の福原元運営委員長からグループ “わ” 運営委員長のご指名を受けました私は、卒業と同時にグループ “わ” に関わっていただけましたので、さほど違和感もなく参画することができました。平成11年度の初めのころは『いきいきヘルシーライフ』のイベント計画をしながら、運営委員長として努めましたのでどうなることかと案じましたが、運営委員の皆さん並びに

会員の皆さんからのご援助をいただき、何とかやっていたいけました。皆様のお陰と感謝いたしております。

このたび、生活環境コース3期生の中島新運営委員長に無事引き継ぐことができました。顧みますと私が千年紀にグループ “わ” の仕事ことができましたことは、私にとって何よりも深い思い出になることでしょう。まだまだ、多くの課題が残っていますが、平成12年度は新しい委員長のもとで、楽しく、そして建学の精神に基づき神戸市シルバーカレッジ社会還元センターの益々の発展されますこと、また会員の皆様のご健康とご多幸を特に祈りいたしまして私の退任のご挨拶およびお礼とさせていただきます。

この一年間本当にありがとうございました。

平成12年5月吉日

ボランティア活動へ

地区からの呼びかけ！

実施日：12年7月・8月の毎月曜日 早朝《小雨実施》

集合場所：須磨浦通1 シーパル須磨ロビー

集合時間：午前8時30分

作業時間：8：45～10：00

携行品：屑・ゴミ挟み 手袋 ポリ袋

申込み先：“わ”事務局 飯井冴子 Tel 743-8101

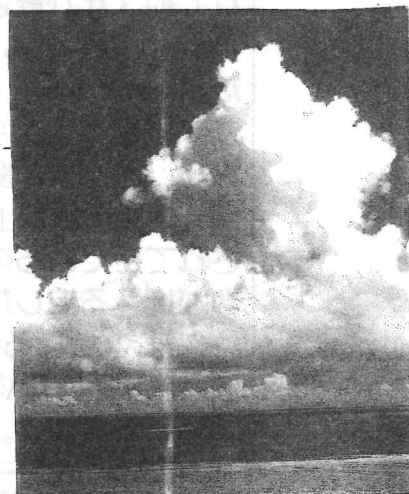
(毎週火・金 10:30～16:00)

須磨区委員 梅谷正芳 Tel 731-1326

申込内容：①住所 ②氏名 ③電話番号 ④期別

⑤参加日(7月3・10・17・24・31/8月7・14・21・28)

1日/回でも複数日/回でも結構です。ご連絡お待ちしております。





パンダがまちにやってくる

ボランティア体験

須磨地区からの発表

梅谷 正芳 (国際 2 期生)

須磨と言えはまず浮ぶのは阪神間、大阪湾随一の規模を誇る須磨海水浴場です。最近では明石海峡大橋開通に伴ない舞子・大蔵海岸に客人数が移ったと言いながら、シーズン中は家族ずれを中心に百万の人達で賑わいます。反面その分放置ゴミも多い訳です。

地区有志メンバーは、シーズン中の土・日は特に人出も多い、したがってゴミも多いということで、7・8月中の月曜日早朝のゴミ掃除を実施致しました。我々の担当区域は、シーパル須磨・赤灯台の南側砂浜を選びました。もっとも7月から海浜公園を含むこの一帯はポイ捨て防止重点地域に指定されてはいるのですが、その効果はいまひとつで、煙草のポイ捨て・花火の跡屑・使い捨てライター・アルミ缶等が結構多いのにはびっくりしました。

この活動は8月2日神戸新聞の取材を受け面映ゆさを覚えましたが、これは「グループ“わ”の認知」・「むやみにゴミを捨てないルール・エチケットを守りましょう」の警報発信・注意喚起に繋がればと思った次第です。

次に、区役所近くの特養ホーム「あいハート須磨」の年中行事、運動会のお手伝いや妙法寺川公園でのお花見ボランティア。昨年は4月3日、今年は開花に合わせて4月8日土曜日に参加。好天に恵まれ我々も皆さん共々満開の桜を堪能させて貰いました。今年は家族の付き添いの無い人たちを担当した故もあり、一層親近感を感じました。事前には車椅子の扱い方レッスンも受けました。入居者はそれぞれに障害の状態・食事・食器の扱い方等注意事項を記入したメモを持ちスタートしました。車椅子に座る人の位置を含め、その人たちの視点で判断・行動を取るという基本的な事柄を習得する良い機会だったと考えております。

ご存知の如く須磨は南北に長く、そのため地域を4ブロックに分け、それぞれにブロック長を置き、活動運営の要の役割を進めて貰っております。昨年10月、第4ブロック地域に介護センター「サニーライフ白川」がオープンしました。有志メンバーと地元ボランティアグループ合同で、

今年 2 月から「入浴後の身辺ケア」に毎週月・木曜日、取り組んでいます。ヘアドライヤーで頭髪の手入れ・美容クリーム塗布、シェーバーでの髭剃りは男性に、爪切り等の作業内容です。男性メンバーは初体験の人が多いのですが、女性入居者は男性によるケアを喜ぶ場合があります。作業で注意すべきことは爪切りです。指の爪には変形や深爪の恐れがあり、看護婦さん・寮母さんにバトンタッチすることもあります。ドライヤーでも当ててない内に熱い熱いと言われたり、爪を切っていないうちに痛い痛いと言われたりしますが、我々の技術未熟にも拘わらずこんなにも別嬪さん・男前に仕上げて貰って有難う！とお礼を言われると嬉しくなります。

グループ“わ”の各部会と並列して、各地区がスタートしたのは 10 年 10 月ですが、カーボランティアでは 1 期生の方に、須磨区の障害者の人を太田町の「明芳サービス」への送迎活動、これは心身ともにご苦労の多い、地道な活動をそれ以前から続けて頂いております。

このように須磨区内を拠点とする主体的な活動と他地区へ出向いての協力/応援活動としては、木工ボランティア・習字・生け花指導や有馬温泉ガイドボランティア等で協力しております。

また、トンボサミットや昨年の国際高齢者年記念事業遂行に当たり、プロジェクトリーダーの大役をこなされた須磨第 2 ブロックに 1 期生メンバー小島哲さんが「奥須磨公園にトンボを育てる会」の事務局長も務められ、ホテルやトンボが棲みやすい環境を作ろうとすることで、自然に対する意識が向上すると各分野の専門家の方々と協力して新しいふるさと、わが街にホテル復活を願って活動なさっていること並びに今年 22 日神戸市教育会館で開かれる「みどりの NPO フォーラム」に、他の市民グループと共に登場されることも併せて紹介させていただきます。考えますと、我々も結構高齢者揃い、明日はケアして頂く立場になるかも知れませんが、然し、僅かな活動にせよ奉仕させて頂き、感謝される立場に身を置く幸せ、有難さ、そして接触し言葉を交わして得られる心の温もりを何時までも大切にしたいと願っております。

尚、今年は 4 期生の人たち加入で、“わ”の登録メンバーも増えましたが、今後とも皆様のご協力を得ながら、グループ“わ”の輪も一層拡げてゆきたい。そしてボランティアセンターさんからのご要望にも応えられるような態勢を整えたいと願っております。皆様の引き続きのご指導をお願い申し上げます、活動報告とさせていただきます。



部会からの発表

嵐艸 武宏 (福祉1期生)

今井学長から「壮大な実験に立ち向かい、来るべき時代に期待される先導者の役割を担って欲しい。」と、大変な課題を背負って、学習の成果を再び社会へ還元するためにグループ“わ”が設立されました。

わが国では先進国でも、類を見ない急激な高齢化が進行し、介護保険も、今年の4月から施行されました。高齢者は、ややもすると弱者の視点から保護の対象として論じられています。超高齢化社会では、健常高齢者が高齢者を介助することは避けて通れません。まだまだ時間に余裕のある健康な高齢者が、社会で果たすべき役割は沢山あります。

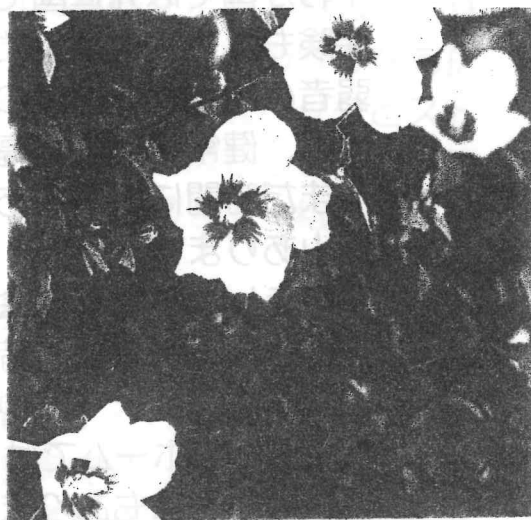
わたしたち福祉部会でも他部会の協力を得て、小学校では「校外実習として昔遊び・昔のくらしやマジック・人形劇」養護学校では「カーボランティアや、キャンプの介助・障害のある人にサッカー指導」特老ホームでは「講師派遣・入浴・買い物や外出の介助」等、枚挙のいとまありません。いまほど社会からシルバーパワーの社会還元を期待されている時代はありません。これは今まで、皆様が地道に努力された成果が社会的に認知された賜物です。さいわい、グループ“わ”は知名度も上がり直接ボランティアの要請がくるようになりました。

最近の学校では人形劇は演劇ではなく、情操教育の一環として受け入れられているようです。子供たちは友達づくりが下手であり屋外で遊ぶなくなっています。テレビゲーム・コンピューターゲーム等で、孤独な映像との対話が生活の習慣となり、ヴァーチャルとリアルの狭間で遊び、区別がつかなくなっているのです。人形劇や三味線の演奏を実像で見せることで、本来人間が持っている豊かな感性を育てようと苦心しています。私たちも少しでもお役に立つのならと積極的に出演しています。子供たちは、初めて接する人形劇や三味線の音色に興味津々。目は生き生きと輝き主人公には惜しみない声援を送ってくれます。時には私たちの幼い頃の暮らしのお話しをします。子供たちにとっては、テレビや電化製品の無い昔の生活はなかなか理解できないのか、次から次へと質問が飛びます。学校



から帰ると直ぐ沢山の友達と日が暮れるまで自然が豊かな屋外で遊んだこと。物質には恵まれなかったが自由で楽しい学校生活の話を聞かせました。現代っ子にどのように映ったでしょうか...良く解りませんが、私たちにとって有意義な交流会でした。これは一例ですが、次世代を担う子供たちに物質文明の豊かさでなく、心の豊かさ・自然を守ることの重大さ。を認識してもらえるように働き掛けることが我々に課せられた責務ではないでしょうか。

まだまだ、シルバー・パワーを必要とする場所は無限にあります。お互いに頑張りましょう！



介護の講習会

主催 グループ“わ”

趣旨：介護・介助のボランティア活動するうえで、是非知っておきたい最低限のことを勉強します。

講習の内容

第一日目…移動動作・車椅子への移動

講師：北区保健部

理学療法士 山本 克己 氏

同 床並 真理子 氏

第二日目…寐衣交換・オムツ交換・排泄介助

講師：北区保健部

保健婦 土屋 葉純 氏

同 竹内 三津子 氏

講習会実施日

第一グループ（午前組）… 8月21日（月）・23日（水）
10時～12時

第二グループ（午後組）… 8月21日（月）・23日（水）
13時30分～15時30分

会場：シルバーカレッジ内

受講対象者：グループ“わ”会員および在学生

募集人員：各グループ 20名

募集受付：グループ“わ”事務局

受講料：無料

（注）定員になり次第、締め切らせていただきます。

部会だより！

むら祭りは7月29日（土）

“わ”も出店します！

生活文化部会は遊びコーナーで

羊毛ひつじ作り 130名 ¥400.

紙折染め 300名 ¥100.

割り箸グライダー 300名 ¥10.

地域ふれあい部会は

商品販売：女兒用の夏帽子 海苔各種

などですのぞいて参加してね…

待ってます！



パンダがまちにやってくる

中央地区からの発表

原田 資三 (生環2期生)

私のグループ“わ”への入会アプローチとコーディネーターとして取り組みは、『“わ”情報ぎゅらりー』10号の「地区からの呼びかけ」をお読いただいて、この一年間の活動体験から気付き・痛感したことから、皆さまにお知らせとお願いがを申し上げます。

今年も4期生[155名]が、グループ“わ”に登録され、全体でメンバー[600名]を越えましたが、地区の活動では人手が十分ではありません。外部から依頼を受けても、人手の面で対応できないのが幾つもあり、また一部特定のメンバーにばかり、負担を掛けることになって、毎月のローテーションを組むのに、コーディネーターは頭を痛めているのが現状です。

これは中央区も他の地区も同様と見受けます。

地区で活動する場合は、必ずしも特技やボランティア経験が無くても、元気で・助け合い・支え合おう…の気持ちがあれば、誰にでもできること・幾らでもあります。どうか部会の活動だけで止めず、地区の活動にも“皆さんの暖かい手を貸して頂けないでしょうか…”よろしくお願い致します。

グループ“わ”も、今では『やさしい人たちのグループ』とか『よく気がつくボランティア』と喜ばれ・評価されるようになり、これからは更に『頼られるボランティアグループ』を目指さねばならないと思います。そのためにも、“頭”より“心”であり、“理屈”よりも“実践”であることを深く心に留め『何よりも謙虚さ・誠実さ・優しさを信条としなければ、いけないのではないかと…』と、教わり、気付いたことです。有難うございました。



生活文化部会からの発表

木原 愛子 (福祉1期生)

私のボランティアは大きな声での挨拶と笑顔から始まります。高齢者支援センターロングステージ灘での活動は、私たち1期生がカレッジを卒業しその7月にグループ“わ”の発足、11月の活動初参加からでした。職員の人たちが忙しく立ち働いている間の1~2時間を、入所されている方と楽しい時間を過ごすお手伝いです。3名のグループで折り紙やぬり絵から始めました。

デイホームでは、私たちの訪問を待っていてくれて「今日は何をするの?」と、声をかけられ嬉しくなります。春はお雛様を折って台紙にのせ雛飾りを。5月は緋鯉・真鯉を折り割り箸に挟み、ミニこいのぼりをお孫さんへのお土産に。夏は金魚を折って部屋飾りに。秋は牛乳パックとストローで竹とんぼに似せて飛ばしはしゃぎ、紙飛行機のとばしっこ・クリスマス前には小さなツリーを折ってドアにリリアンで飾ります。私自身が楽しみながら続けてきました。

特養ホームでは、童話や小学唱歌を歌いながらのぬり絵を、若かりし頃のお話を聞いたり、こちらからは「いま燕を見たよ!」「お店の軒下に泥を運んで巣作りをしていたよ」「ふん ふん」と聞いてくれます。無表情で車椅子に座っているだけの人に、耳の傍で大きな声で歌ってみました。なんとにっこり笑って拍子をしていただきました。その時は、この活動を続けて良かったと元気が出るのです。

今では、私たち以外にお習字指導・ナツメロ・詩吟・三味線・読み聞かせ・フラワーアレンジメント等、いろいろな面で係わりを持って高齢者の方々も豊かな生活を送ってもらうための一助になればと小さな力を出し合っています。これが大きな輪になって行くよう皆さまのお知恵と時間をご協力くださいますようお願い致します。これがロングステージ灘での2年間の活動です。

親愛ホーム(中央区)での活動は2月から、1回俳句遊びで訪問し先月は「若葉」を季題としました。5月に訪問した時、「このホームからは若葉も青葉も見えないのよ、

色褪せし唇なれど 若葉喰む	こまえ
遥かなる若葉の先は瀬戸の海	//
見え隠れ電車二両が若葉縫う	//

80 数年の生活の蓄積から生まれた詩(ポエム)だと思います。皆さまはどうに感じられたでしょうか? ちなみに、6月の季題は「梅雨」と「紫陽花」。皆さまも一句作ってみて下さい。



パンダがまちにやってくる

グループ“わ”の地区委員に直面して…

西区委員 山口 勝視

はじめに 卒業を間じかに“わ”について関係者から説明を受けました。疑義について求めた説明では、要領を得ないまま辞退したがその後、親睦会で世話人の末席を汚した立場上、会員に名を連ねた次第。今回、はからずも地区委員を引き受ける羽目になりました。前任者が三年間努力を傾けられていたその間、毒にも薬にもならぬ2年間で空費した天罰で委員会の席上で赤面する始末です。

そこで、前任者・事務局に要所の説明を請い、何とか責任を果たしたいと考える次第です。

さて、事務推進の必須要件は委員自身が自発的に公共福祉に奉仕精神を、身体と心で感じる事が大事であることを痛感した。実は無意識のうちに実行していた事実を確認したので、実例2件を紹介します。

その1、 M氏は明治末期の生まれで、当年92才の老人である。壮年時は、区農業委員副会長・民生委員・自治会長・老人会長を歴任し地域の福祉に貢献した。8年前に妻女と死別し、加齢と共に難聴・言語障害・歩行不能文字通り孤独な入院生活を、余儀なくされている。入院前は一ヶ月に1~2回程度食事を共にし話相手になっていた。しかし、入院後は日増しに衰弱の一途をたどり、好きなアイスcreamも拒否したが、せめて精神面だけでもと大正末期から昭和初期にヒットした、東京行進曲その他を補聴器を通じて流したら彼の両脇から熱いものが流れた。反応は確かに認められた。心で感じられるサービスではなかったか、後方では老婦長さんが静かに頭を下げられたのが印象的。

その2、 今年の5月20日前後、夕方から雷をとともなう大雨で、公道沿いの側溝は土砂等で埋まり、雨水は路面を河川のように流れた。翌朝、側溝内の土砂・落葉の除去作業で、歩道の片側半分に積み上げ、市からの清掃を期待した。しかし期待外れで5月24日の夕方、一輪車に山積した土砂を10数回、自宅内の凹地に埋め込み等で最後の美化作業。一汗流した後のピールの味はまた格別、それより自分の心の清掃で満足した。

まとめ 委員におされ、日なお浅く運営に戸惑いを覚えるこん日、関係諸兄諸姉のご指導を切にお願いし、任期中、環境の許す限り全力投球の所存でございます。



パンダがまちにやってくる



外国人との春の交流運動会を終えて

外国人支援部会元代表

おおね

葡萄 聡一

去る4月23日(日曜日)D部会はツバ-カッツの中庭で外国人との春の交流運動会を開きました。一昨年のトホ-サミットから数えて第6回目の集会でした。間もなく私たちの“わ”も平成11年度が終ることでもあり、よい節目になりました。当日は日本側の23名に加え、外国人は6ヶ国より15名の参加がありました。幸い晴天に恵まれ一同はパ-タツグ・輪投げ等に興じました。

パ-タツグはフランスで始められたスポーツで、海外では広く親しまれているようです。集会は回を重ねるたびに馴染みの顔ぶれも増え、和やかなものでした。

午後の懇談の席では、西アフリカのセネガルの留学生バー-リーナさんから同国の紹介がありましたが、佛和辞典を片手にした彼女の話も、なかなか楽しいものでした。セネガルの人たちは私たちと同じように、魚料理が好きだとのこと。又、同国は多宗教の国なので、その方の付き合いが多いそうです。日本人の社会は宗教に淡白なので住み易いなどと云っていました。この黒いお嬢さんはなかなか表情が豊かで遠い国から来ていても、とにかく心配な『孤独感』は無さそうでした。

私たちはニュースで毎日のように悪い事をした人たちの話を聞かされています。今、目の前に居る留学生たちは憧れてやって来た日本の世相をどう見ているだろうかと心配もしました。

今回は、日本の歌に“我は海の子”を選び斉唱しました。その後、特別参加くださった亀田俊彦さん(音楽1)ほか5人編成の邦楽クラブの皆さんが、日本の歌曲をト-レで演奏され興味が盛りあがりました。

D部会はこの二年間、外国人との交流集会の他にも部会の柱となる活動をやって来ました。バザ-や何回かの募金活動を行ない、取得したお金は苦境にある外国人に義捐金として贈呈して参りました。又、あるグループでは鷹取の土曜学校でベトナム人児童に長期間、継続して学習指導をしています。

外国の指導者の中に、日本人の勤勉さや道徳感を見習うべき美国として大変褒めてくれる人がいます。

私たちはこうした期待を裏切ることが無いようにしたいものです。

D部会は、例え微力であっても外国人支援・交流を通して社会に恩返しをし、同時に世界に学ぼうとする人々がふえることを望んでいます。



パンダがまちにやってくる

2000年記念イベント

KSCみんなのふれあい2000

神戸市シルバーカレッジの社会還元センターでは平成12年度のイベントとして、在校生と卒業生との親善交流をしてはどうかとの発想から下記の通り計画をいたしておりますので、どうか在校生のみならず、また卒業生のみならずも、奮ってこのイベントのご参加くださるよう切にお願い申し上げます。

記

日時 平成12年7月28日(金) 午前10:00から午後3:00

会場 シルバーカレッジ全館と中庭・展望広場

1. スポーツ関係

(A) カレッジホール(晴雨のとき)

1) ペタンク(雨天のみ)

2) 囲碁ボール

3) 輪投げ

4) シャッフルボード

5) カローリング

(B) 展望広場・中庭(晴天のみ実施、雨天中止)

1) ターゲットハードゴルフ

2) ペタンク

2. 文化関係

1) カレー料理教室(調理室)

2) 絵手紙の書き方(美工室)

3) 歌唱教室(午前)・カラオケ教室(午後)(音楽室)

4) 銭太鼓体験(午前) フォークダンス体験(午後)(1・2教室)

5) 人形劇体験(3教室)

6) ファンシー(4教室)

7) ハワイアン・フラダンス体験(5・6教室)

8) 囲碁大会(グループ1室)

9) レクリエーションソング・ゲーム(グループ2室)

10) マジック体験(グループ3室)

11) 折り紙教室(グループ4室)

12) ワープロ教室(LL教室)

13) 屋食室(園芸教室)

* 注意

(1) 各教室とも催しに必要な費用(材料費)は実行委員会が負担するが、参加費用としては参加者に一部負担をお願いする。

(2) 各教室はリーダーの指導で体験してください。

(3) 参加申し込みなどは各種目によって若干異なりますので問合せのこと。

(4) 当日の参加申し込み要領

別途掲示します。各種目の実施内容をご覧いただき、参加申し込み用紙にご記入の上申し込み投入箱に入れてください。

(5) 問合せ先 グループ"わ"事務局 ☎743-8101(火・金)

松井実行委員長 732-7991・門協実行委員長代行 994-2572

久保実行委員長代行 731-0912

グループ"わ"イベント実行委員会

半袖ポロシャツ販売

ポケットにカレッジのマークを入れた半袖でポロシャツを、“わ”で取り扱っています。

いろ：黒、赤、白、紺、ミントグリーンの6色を取り揃えています。

サイズ：M、L（男女兼用）

ねだん：1枚 ¥2,700

卒業生の方も、グループで活動している方、ぜひ買ってくださいね。

（問い合わせ TEL 743—8101）



最新環境用語集が認められました。

2年前、1期生のくらしの環境調査部会の会員が最新環境用語集（1冊 ¥300）を編集発行しました。

その後、機会あるごとに販売しているのですが、1回にせいぜい5~6冊買ってもらえるのが、やっとでした。

それが、先日、全国造園学会に出席された西日本短大の先生がその冊子を買って下さり、「こんな立派な冊子が300円とは…、ぜひ学生に使わせたいので、譲ってください。」と、115冊も購入して下さいました。

中央区で行なわれた学会会場まで売りに行った運営委員をはじめ編集員一同は、この冊子が『認められた』ことが、ホントにほんとうにうれしかったです。

編集後記

◇過日の“わ”総会での四人の方々の貴重な体験発表は大変に好評でした。

それぞれのボランティア活動の「紹介と現場の声」を再現・掲載いたしました。

◇この梅雨が過ぎるといつか『盛夏』。むら祭り・KSC2000イベントと「おもしろ企画」と「準備」でなにやらおおわらわです。

◇年度変わりにより新代表 中島氏から心意気をいただきました。スペースの関係でご本人の顔写真が無く残念です。以後、執筆者の写真を撮りこんでみるのも楽しいかな。

◇さて、この情報ぎやらりーがお手元に届きますのに、地区委員の皆さまにご協力をお願いしています。およそ隔月末地区へお持ち帰り戴いております。

◇次期発刊は夏季休暇の関係上、次期発刊は10月末を予定しています。メンバーの皆様のお待ちしております。